

令和2年度第1回西脇市手話施策推進会議（書面会議）  
の結果報告について

1 会議の成立

全ての委員（12名）から書面の提出がありましたので、過半数以上の出席（書面提出者を出席者とみなす）を満たす結果となり、会議が成立したことを報告いたします。

2 協議結果

(1) 次第3：会長・副会長の選出について

委員の投票と事務局一任により下記のとおり選出・承認されました。

会 長：嶋本 恭規 委員

副会長：鳥越 隆士 委員

(2) 次第4：報告事項

ア 令和元年度手話施策推進事業の総括について

【質問】

○「手話体験コーナー」の来場者は、リピーターと新参者のどちらが多いですか？

⇒ 正確な記録はしていませんが、初めて参加される方のほうが多いです。市役所の来庁者やみらいえの利用者に積極的に声をかけて体験に誘っていただいております、幅広く体験していただいていると感じています。

【意見】

○3年間の変化を見ることができてよかった。「評価」で改善策の具体があるとよい。

○地道な取組みが多いが、継続することにより確実な力がついてきているように思います。

○P.5手話検定について

1人では学習のモチベーションの維持が難しかったので、一緒に学べる人がいたことはありがたかった。評価にもあるように、合格することのみが目標とならないよう、何か継続した活動ができると良いと思う。

○市民への啓発に積極的な事業提案をいただき、成果が表れているものと感じている。

## イ 令和2年度手話施策推進会議の進捗状況について

### 【意見】

○NET119だけでなく、110番通報もオンラインでできると助かる。

⇒インターネットで110番通報ができるアプリがあります。登録方法等の情報を収集し、必要な方に情報提供いたします。

○コロナ禍でも高校生が動画作成を企画してくださりありがたい。手話を勉強するための講座がほとんど中止になったので、本当に残念。

○新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、さまざまな事業実施が出きないことは致し方なく十分理解できる。その中でよく頑張っておられると思う。

○P.23暮らしの中で必要な事の情報提供について

コロナ禍の情報が錯綜する中で、コロナに関する市長メッセージが手話通訳・字幕付きで発信されたことは、分かりやすい情報が届き良かったのではないかと思う。

○全く実施できなかった訳ではないので、実施できた事業を高評価する。NET119と防災無線モニター受信機は命に関わるもので、コロナ対策をしつつ説明会を開催した事を評価する。

○コロナ禍にあって事業推進が難しい状況にあっても、学校等への働きかけを地道に行っていたいただき、児童生徒の理解促進に寄与いただいたと感じている。手話の普及はもとより、児童・生徒・市民の方々の人権感覚の涵養につながっていると感じている。

○会議が開催できず、書面では意見がいろいろ。

○通常の会議であっても良かったのでは、と思う。具体的には分からないが、コロナ禍で手話が映像で一般の目に触れる機会が増え、リモート、ユーチューブがメジャーな手段の中で何かできることがあったのではと思うところがある。

⇒御意見を頂戴する場を設定できず申し訳ございませんでした。

来年度は、感染の状況を見ながら、なるべくお集まりいただけるよう調整してまいります。

(3) 次第5：協議事項  
令和3年度手話施策推進計画について

承認 12名（委員全員）

【意見】

○講座・研修等、対面だけでなくオンライン実施できる環境を整備してはどうか。コロナ収束後も、機会を増やすことができる。また、講座・研修の映像資料を後で利用可能とする。

⇒オンラインで提供されている講座・研修については、登録通訳者研修等に積極的に活用していきたいと考えています。また、市からの発信についても、ZOOM等の活用を検討していきたいと  
思います。

○P.19 手話講座について

講師をするには経験も知識も足りないが、手話に関心があり、活動が続けたいという方に、手話講座のお手伝いをしてもらえるような“手話講座サポーター”的な枠組みがあると良いのかなと思う。

⇒啓発講座の中で、手話を学習中の方にも役割を担っていただけるよう検討していきます。

○手話啓発掲示について

新庁舎の液晶パネル等の案内の映像に基本的に手話をつけるようにして欲しい。

⇒全ての方に情報が届くよう、手話通訳・字幕の付与について担当課と調整します。

○広報にしわき

隣保館だよりではなく広報面で「わんポイント手話」を掲載した方が市民全体の意識が上がると思う。

⇒広報紙面の都合で定期的な掲載が難しいため、現在は隣保館だよりへの掲載となっています。

### 3 その他（質問・意見）

#### 【意見】

○新庁舎の案内掲示を分かりやすいものにしてほしい。

⇒市民のみなさんに分かりやすい掲示を検討しておりますが、分かりにくいところがありましたら、お知らせください。

○手話通訳者を少しでも増やしたい。

○市役所内に手話通訳者が1名しかいないため、不在時に対応してもらえず不便である。

⇒引き続き、設置通訳者を募集しています。お知り合い等で希望される方がいらっしゃいましたら、情報提供をお願いします。

○新庁舎での聴覚障害者の居場所づくりを主とした有効利用できるようにして欲しい。

○「手話体験コーナー」を新庁舎でもできるように場所を確保してほしい。例えば、ミライエで1回、市役所で1回など

⇒新庁舎は人が集まる場所となることを目指しています。集まる場の一つとして手話事業を実施できるよう調整していきます。

○乗り合いタクシーむすぶんの携帯登録に聴覚障害者はメールアドレスでの通信手段が取れるようにしたらいいと思う。

⇒現在のところ、電話またはファックスのみ受付可能です。御要望を事務局に伝えます。

○今後共手話施策の推進に向け、微力ですが一緒に頑張っていけたらと考えている。

○コロナ感染終息の見込みが不透明な世の中、できる事は実施し、できない事は無理しなくてもいいと思う。